

「笑い」の力、「笑い」のはたらき

「笑い」とは何か—毎日の生活の中で、当たり前のように笑っていても、「笑い」について正面から考えることはあまりありません。しかし、誰かの「笑顔」で気持ちが癒やされたり、相手の「笑い」の意味がわからず困惑したり、気分を害したりといった経験は、誰もが持つのではないのでしょうか。「笑い」の持つ力やはたらきは、実は多様です。今回のシンポジウムを通じて、「笑い」の魅力について見直してみませんか。

講演

「笑いの方程式」



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.

しょうふくてい じんち
笑福亭 仁智

落語家・上方落語協会会長・羽曳野市出身

昭和27年(1952)生まれ。本名：浅田晃一郎 昭和46年(1971)笑福亭仁鶴に入門(筆頭弟子)。昭和56年(1981)桂三枝(現・六代文枝)師の誘いを受け、「第4回 創作落語の会」で初の新作「スタディーベースボール」を口演。驚くほどの反響があり、以降新作を作り続け、自作の落語は100本を超え、現在に至る。

主な会：「笑いのタニマチ」「笑いのスミヨシ」「養蓮寺寄席」

受賞歴：「文化庁芸術祭優秀賞」平成15年度(2003)・平成27年度(2015)

「大阪文化賞奨励賞」平成10年(1998)

ディスカッション

シンポジスト

しょうふくてい じんち
笑福亭 仁智

みなみたに みほ
南谷 美保 (四天王寺大学人文社会学部 教授)

いとう けい
伊藤 圭 (羽曳野市教育委員会 指導主事)

総合司会

もてぎ よう
茂木 洋 (四天王寺大学人文社会学部 教授)

オープニングプレゼンテーション

四天王寺大学 学生グループ
(教育学部教育学科 保健教育コース)



日時 平成31年 **3月3日(日)** 13:00 ~ 16:30 (受付12:30~)

会場 LICはびきの ホールM (入場無料)

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1-1-1

定員 **500名** ※事前申込必要(先着順)
※手話通訳あり

主催 羽曳野市・羽曳野市教育委員会・四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部

「笑い」の力、「笑い」のはたらき

【スケジュール】

13:00 開会挨拶

きたがわ つくお
北川 嗣雄 (羽曳野市市長)

13:05 オープニング — 学生プレゼンテーション —

「子どもたちの笑顔を守る！ 養護教諭の奮闘」

四天王寺大学 教育学部教育学科 保健教育コース 学生(指導：松本珠希教授)

13:25 第1部 話題提供

「日本文化と笑い — 笑いの力・笑いは救う —」

みなみたに みほ
南谷 美保 (四天王寺大学人文社会学部 教授)

14:25 第2部 講演

「笑いの方程式」

しょうふくてい じんち
笑福亭 仁智 (落語家・上方落語協会会長・羽曳野市出身)

15:40 第3部 ディスカッション

シンポジスト 笑福亭 仁智
南谷 美保
いとう けい
伊藤 圭 (羽曳野市教育委員会 指導主事)
もてぎ よう
総合司会 茂木 洋 (四天王寺大学人文社会学部 教授)

16:25 閉会挨拶

いわお ひろし
岩尾 洋 (四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 学長)

※手話通訳あり

会場案内

LICはびきの ホールM

〒583-0854
大阪府羽曳野市軽里1-1-1

交通アクセス

電車：近鉄南大阪線「古市」駅下車 西へ徒歩10分
バス：近鉄バス「軽里一丁目」バス停 下車すぐ

※公共交通機関をご利用ください。



申込み・問合せ先

往復はがきまたは、下記ホームページよりお申込みください。

1. 往復はがきの場合

往信用に ●「公開シンポジウム希望」と明記

●郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を記入の上、お申込みください。

※複数でのお申込みの場合は、連名で記入してください。

入場整理券として返信いたしますので、返信用の表書きにも申込者の住所・氏名(連名の場合は代表者名)を記入してください。

2. ホームページの場合

URL <http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/exten/>

(注) LIC はびきのでは受付していません。

四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部 エクステンションセンター

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

TEL 072-956-3345

